

第 29 回全国小学生作文コンクール

「わたしたちのまちのおまわりさん」

受賞名：優秀賞（低学年の部）

タイトル： すてきなけいさつ音がくたい！

氏名： 中井 結貴英（ナカイ ユキハ）

小学校名：三重県 津市立一志東小学校 一年

わたしのおばさんはけいさつ音がくたいで、フルートをふいています。わたしはかぞくと、おばさんが入っているけいさつ音がくたいのコンサートに行ったことがあります。とてもすてきなコンサートでした。

コンサートかいじょうの入り口には、けいさつの人たちがいました。その人たちは、音がくたいのパンフレットをくばっていました。手にまくはんしゃばんをもらいました。よるになるとひかって、くるまがとまってくれます。マスコットのミーポくんもいました。わたしはにげました。ちいさいころから、大きなうごくぬいぐるみが、こわいからです。

かいじょうの中に入りました。入ったら、たくさんのおきやくさんがいました。早くはじまらないかとワクワクしました。

コンサートがはじまりました。知っているきょくがながれました。けいさつの人こんなきょくがえんそうできるんだとおもいました。ほかにもわたしが知っているきょくがいくつもありました。すてきだなと思いました。おばさんは白いせいふくをきて、フルートをえんそうしていました。わたしもあんなふうにあんそうしてみたいと思いました。

コンサートがおわりました。かいじょうのおきやくさんが大きなはく手をしていました。はじめて行ったけいさつ音がくたいのコンサートはとてもすてきでした。

ふしぎに思ったことがあります。どうしてけいさつの人がコンサートをしているのだろう。そのりゆうをお父さんからききました。

「けいさつの人がどんなしごとをしているのかをしらせるためにやっているんだよ。お年よりがだまされないようにしたり、みんなのあんぜんをまもってくれたり。みんなを大切にすることをつたえてくれているんだ。」

わたしはパトロールをするだけがしごとではないんだと思いました。わたしはけいさつかんの人たちに「おしごとをがんばってください。いつも、ありがとう。」といたいです。